

海外渡航社員に安全対策訓練

オリエンタルコンサルタンツグローバルは、東京都新宿区の本社会議室で海外への渡航を予定している社員12人を対象に「安全対策実地訓練」を実施した。

同社は、世界各地で活躍する社員の命と財産を守ることを何よりも大切な最優先事項として掲げており、社長直轄の安全管理室を設けて、テロや自然災害、紛争、犯罪、暴動など海外で遭遇する可能性のある、あらゆるリスクに対して万全のサポート体制を整えている。

訓練は、海外の現場で万が一の事態に巻き込まれた際に落ち着いて自分の身を守り、適切な行動を取れるようになるための知識と実

オリコンサルグローバル

践力を養うことを目的に実施した。在外公館で領事と警備対策官を務めた経験を持つ元自衛隊幹部の下温湯康裕安全管理室長が講師として指導した。

12人の社員は、強盗や爆発、銃撃などに遭遇したときの具体的な逃げ方や刃物で襲われた際の対抗策、応急処置など、実際の動きを交えながら熱心に学んだ。また、突然の心停止が起きた場合を想定し、胸骨圧迫の正しい手順やAED（自動体外式除細動器）の操作方法を全員が体験した。

同社は「これからも海外で業務に励む社員が安心して力を発揮できるように定期的に実践的な安全訓練を重ねていく」としている。